

ピアネット monthly June. 2018

ピアネット・マンスリーの発行について

ピアネット・マンスリーは各団体の活動状況に合わせて定期的に発行していきます。《ピアネット事務局》

【課外教養プログラム（学生センター）】

「楽がきから学ぶ発想力と創造力」を実施しました

2018年5月17日（木）、グラフィックファシリテーターである畑中みどり氏をお招きし、課外教養プログラム「楽がきから学ぶ発想力と創造力」を実施しました。

本プログラムは、絵よりもハードルの低い落書きをきっかけに絵を描くことを好きになってもらい、絵を用いた発想力と創造力を鍛えることを目的としました。

内容としては、1つ目にドーナツチェックインという話し手・聞き手・描き手に分かれて、絵を描くことを経験しました。

2つ目に Graphic Recording（グラフィックレコーディング）において重要な4つのPを紙に描きながら学びました。

最後に1人の話を聞き、その話を絵で描くという Story Telling（ストーリーテリング）を行いました。どれも人の話を可視化するための手法で、参加者は新たな表現方法を体験することができました。また、講義中は畑中氏の柔らかな雰囲気づくりや参加者間交流を積極的に取り入れたワークショップが続き、終始、良い雰囲気で行えました。

参加者からは「あっという間の1時間30分だった」「ノートをまとめる幅が広がった」などの声があり、楽しくもやりながら充実したプログラムになったと思います。



講師による説明



グループワーク



集合写真

【ボランティアセンター】

市ヶ谷ボランティアセンターが「神田すずらんまつり」に協力しました

5月26日（土）、神保町のすずらん通りで開催されている「神田すずらんまつり」は、今年で32回目を迎え、和太鼓や吹奏楽のコンサート、読み聞かせ、水彩画教室、囲碁教室などをおこない、地域の交流促進を目的にしたおまつりです。

今回は、神田すずらんまつり実行委員会より、法政大学のポッチャの取り組みを披露して欲しいと依頼があったこと、

千代田区内近接大学の高等教育連携強化コンソーシアムに所属する共立女子大や二松學舎大学などの大学や明治大学などの近隣の大学が既に協力していることから、神田すずらんまつりに協力させていただきました。今回、法政大学はポッチャ体験教室の出店、交通整理やごみの分別などの運営ボランティア、囲碁教室運営ボランティアを担当して、神田すずらんまつりに貢献しました。ポッチャ体験教室では、ボランティアセンター学生スタッフ（VSP）がまつりに来場した方々にポッチャのルールを教え、体験できるブースを出店し、432名の方に体験していただきました。このポッチャ体験教室は、東京2020参画プログラムにも認定されており、ポッチャを体験された方々には東京2020のピンバッチをプレゼントしました。

子供たちからお年寄りまで様々な年代の方々、フランス、カナダ、ロシアなどの様々な国籍の方々に参加しましたが、学生たちの柔軟な対応力で参加者全員にポッチャの魅力を伝え東京2020の機運を高めることができました。また、すずらんまつりに協力してくれた他大の学生たちもポッチャ体験教室に参加してくれたり、交通整理やごみの分別などの運営ボランティア、囲碁教室運営ボランティアを大学の垣根をこえ協力して行ったりすることで近隣の大学との交流も深めることができました。今後も法政大学ボランティアセンターでは近隣の大学と連携し、地域に貢献するボランティアを積極的に行っていきます。



ポッチャ体験教室に通りにかかった犬も参加



集合写真





6月のワークショップの様子



【入学センター】

8月の法政大学オープンキャンパス（市ヶ谷：8/5、8/19、8/20 多摩：8/4、8/25 小金井：8/4、8/25）に向けて、5月から学生スタッフが企画・運営の準備を開始。来場者の満足を第一に考え、学生主体で取り組んでいます。

市ヶ谷では6月に学年ごとの役割や全企画理解を深めるべく、ワークショップを実施。7月には、学生同士で模擬オープンキャンパスを実施し、本番さながらの状況をシミュレーションして各自の来場者対応についてフィードバックをする予定です。

【グローバル教育センター】

5月から、市ヶ谷キャンパス G ラウンジ横のセミナー室で「Jラウンジ」がスタートしました！ Jラウンジとは、日本語を学ぶ留学生が日本人学生と「日本語」でおしゃべりできる場所です。JLP 学生スタッフによって運営されており、外国人留学生が授業以外で日本語を使う機会として、また日本人学生と交流の場として開かれています。

月・水・金の昼休みと3限の時間帯に実施しており、お昼ご飯を食べながら、楽しくおしゃべりしています。Jラウンジは予約不要、入退室自由ですのでお気軽にお越しください♪



プログラムの様子



【学習ステーション】

「常駐アシスタント・プログラム」を実施しました

常駐アシスタント・プログラムでは、時事問題やマンガの名言に着目したもの、授業の内容についてディスカッションをするものまで幅広くプログラムを行いました。

参加学生からは「密な話し合いやディスカッションをする場があまりないので参加して良かった」「学生スタッフの活動にも興味が湧いた」といった声が寄せられました。

引き続き7月21日まで（月曜日～金曜日）プログラムを行う予定です。



プログラムの様子



【編集後記】

「1人の100歩より、100人の1歩が大事」という言葉があります。チーム（組織）にとって、一人で多くの壁を乗り越えるより、チームで壁を少しでも乗り越えていくことの方が大事だ、という意味だそうです。ラグビーをはじめ様々なスポーツにも言えることですが、各チームを見たときに個人個人の能力が足し算方式のようにチーム力に表れるかといったらそうでもありません。個人の能力はチームとしてのまとまりがあってこそ、チーム力に反映されるものなのです。その良い例がリオデジャネイロ五輪の陸上男子100m×4人リレーの日本代表ではないでしょうか。個人個人のタイムが他国に劣っていてもチームワークで銀メダルに輝きましたね。

ピアネットにも通することだと思います。ピアネットはそれぞれ個性の異なる学生が集まっていて、得意分野は活かし、不得意分野は支えあい、そうやってチームとして成り立っているのかなと感じています。個人の成長もちろん大事ですが、ぜひ、チームや仲間にもより目を向けてみてはいかがでしょうか。ピアネット・マンスリーについてのご感想をお待ちしております。

《事務局：堀越》